



# ひだまり

さくら千手園 佐倉市青香1019 043-462-2008

木の宮学園 佐倉市青香1051 043-463-1008  
レインボー 佐倉市青香1051 043-463-1128

## 目次

|                  |   |
|------------------|---|
| 散歩道              | 1 |
| さくら千手園           | 2 |
| 着付けボランティア        | 2 |
| ニュース速報           | 2 |
| 千手園日記            | 3 |
| 木の宮学園            | 4 |
| 木の宮フェスティバル       | 4 |
| 木の宮日記            | 5 |
| サポート             | 6 |
| ボランティア紹介         | 6 |
| アプローチ            | 7 |
| 支援費(利用契約)制度(その2) | 7 |
| 情報フラッシュ          | 8 |



第5回 千手会 年忘れ会

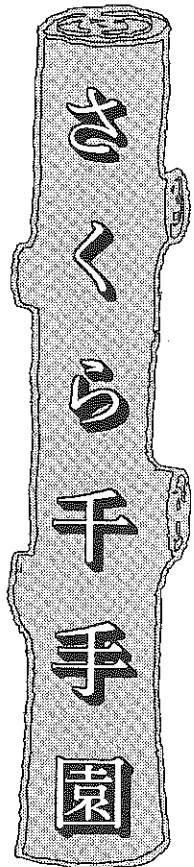
## 散歩道

一年間を締め括る年忘れ会行事が、利用者・保護者・職員・ボランティアなど全員参加のもとに12月27日(金)に志津コミュニティセンターを会場に立食パーティー形式で開催された。

理事長が一年間の主な出来事や反省とボランティア等への謝辞を話している間も利用者の視線は、厨房職員が丹精込めて作ったテーブル狭しとならべられている料理に釘付け。今年のアトラクションは、すべて利用者が参加できるゲーム(リレー・?ボックス・名前くじ)で終始笑顔が絶えなかった。確かに行事は楽しく結束力は強まるが、表面的なもので終わりがたかない。本質的なものを大切に、目的達成のために失敗を恐れず、実りあるものにするために来年もチャレンジ精神を持ち続けたいものです。

皆一年間を振り返り満足げな顔をして、来年の希望を胸に抱き冬休みの帰途についた。

一年間多くの方々にお世話になり有難うございました。



### 着付けボランティア



10月25日の朝から、鈴乃屋きもの学院一衣交友会の総勢15名のボランティアの方々が大きな衣袋ケース5つを持って来園されました。女性利用者20名が着付け部屋に入った時、最初はどんな事をするのか不安な様子でしたが、場に慣れてくるとボランティアの方と仲良くお話ししながら楽しそうに過ごしていました。

着物や帯、下駄などを選ぶ際、着物についての専門家なので肌の色や年齢に合わせてアドバイスを頂き、悩みながらもじっくり選び、着付け開始です。

着付け中は、ドキドキ・ワクワクしながらも素早い着付けにいつもおしゃべりな方も圧倒されている様子。あっとい間に着付けを終え、見た事もないような大きなリボンや蝶の帯の締め方に大感動。着付けが終わった方から記念撮影。

その後は園内を一周し職員に見せて回ったり、ずっとニコニコしている方、反対に多少疲れた表情をしている方など様々でした。着物を着る機会はありませんので、できあがった写真を見て大喜びで利用者同士見せ合ったりと大騒ぎでした。このような活動に参加でき、思い出深い一日になりました。

(小川)



## SNNN ニュース速報!!

(S) 千手会  
(N) ニュース  
(N) ネットワーク

「続いてはニュースです。」  
「皆さん、こんにちは。SN Nニュースの時間です。まず初めに、今年度から行っている個別外出についての速報です。」

「利用者の皆さんのニーズを細部まで聞き、少人数で外出するとともに楽しい行事です。」  
「早速現地を呼んでみましょう。ホテルバイキングのTさん!!」

(T) 「は、はい、今ホテルのバイキング会場にきています。人数は4名でしょうか。皆さん真剣に食べています。インタビューをしてみたいと思います。」  
(T) 「おいしいですか?」  
「.....」

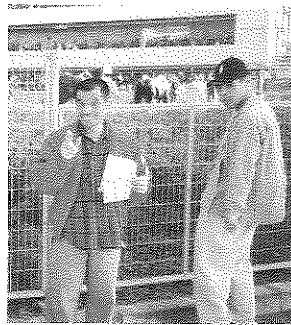
(T) 「言葉が出ない程おいしいようです。それではバイキング会場からでした。」

「続いて、ハイキングからの直撃インタビューです。Fさん!!」

(F) 「は、はいFです。私も一緒に七井戸公園ハイキング中です。」  
(F) 「秋のハイキングはいいですね?」  
「ハァ、ハァ、ハァ!!」

(F) 「失礼しました。皆さん汗をかきながらスポーツの秋を満喫しています。以上、現地でした!!」

次は、銀座でデートショッピング中のKさんにインタビューです。Mさん!!」  
(M) 「しーっ静かに、デート中です。現在、三越前です。インタビューを試みましたが……この2人の中には入れません!!ブツ。」



船橋競馬場にて

「最後の現地インタビューです。Oさん!!」

「お手持ちの勝馬投票券は……」  
(O) 「競馬場です。今のお気持ち!!」

「ヤッター!!最高!!ラッキー!!」  
(O) 「興奮状態です。現地でした。」  
「これからも、皆さん笑顔で一杯の外出をしていきます。以上、SNNNニュース速報でした。」  
(島田)

# 千手園日記

## 地獄良いとこ 一度はおいで

12月4日～6日の2泊3日で別府温泉に行ってきた。大分空港に着いての第一声は「暑い！」です。レンタカーに乗るとまずは上着を脱ぎトランクの中は脱いだ服でいっぱいになってしまいました。さすが九州、温泉の町、いたる所硫黄の香りが漂う中一路別府をめざし出発するとまず目についたのは鶴見連峯とその山裾に広がる温泉郷から噴き上がる湯気です。湯気に心を残しつつその日は宿に行き名物卓袱料理に舌つつみを打ちいよいよ2日目、あの湯気の源、地獄めぐりのスタートです。地下200米の深さから百度内外の噴気をあげる様相は言葉で表わせない程でした。コバルトブルーの海地獄、岩でできた山地獄、鬼のいるかまど地獄、ワニのいる鬼山地獄、その他沢山の地獄を見学し中でも真赤に染まった血の池地獄では、みんなだまって立ち止まりじっと見入っていました。宿に戻ってから話題は地獄の事ばかり、「すごい」「恐かった」「悪い事したら地獄に行くんだよ」等尽きる事なく話していました。最終日の朝はなんとなく元気のない様子。それでも「おはよう」と声を掛けると「私温泉に3回入ったんだ」と得意気な声が返ってきました。マリンパレスを見学しアザラシのショーや魚の餌付けを見学し最終日を終え帰ってきました。



海地獄にて

羽田空港に着くと「寒いね」と言って上着を取り出して「こんなに違うんだ」と言って笑顔で服を着ていました。

(菅野)

## 佐渡(金)を目指して



砂金場にて

11月13日～15日、総勢5名で佐渡へ行ってきました。旅のメトはやっぱりゴールドパークでの“砂金採り”その時の様子をこんな詩にまとめました。

小雪舞い散る佐渡が島  
寒さに負けず5人衆  
佐渡の山へとわけ入り  
金を目指して真っしぐら  
小さな砂金にてっかい夢  
1つじゃ足らなきゃ2つ取り  
2つじゃ足らなきゃ100コ取る  
そんな意欲はあるけれど  
皿をふっても砂ばかり  
こんな思いは職員だけか  
欲がなければよく取れる  
1つ1つに笑顔と思ひ  
そんな思いを心の中に  
10コの砂金をにぎりしめ  
想い出わけますお土産に  
喜ぶ顔が見たいから。

どうでしたでしょう。ゴールドパークでは欲は捨てた方が良くと思います。そうでないと見える物も見えなくなるかも…… (蜂谷)

## 北へ……

♪まつしまの～(エンヤトットエンヤトット)♪  
ということで行ってきました。杜の都仙台へ。

まず私達をわくわくさせたのは東北新幹線です。利用者の皆さんも移り変わる景色に目を奪われていました。楽しい気分では話もはずみ笑い声も絶えませんでした。

次に私達の心を踊らせたのは、松島での遊覧船です。皆さん初めのうちは少し揺れる船に不安な表情をしていましたが、波にも慣れ元気を取り戻すと、甲板に出て“ウミネコ”に餌付けをしました。「キャー」とか「怖いよ。」などの声も聞かれましたが、そのうちに「かわいいね。」と笑顔がこぼれ始めました。いろいろな形をしている小島を興味深そうに見ては指を指して、「あれだよ、すごいね。」と驚いたり、とても刺激的な日を過ごしました。

大自然の神秘と潮風、たくさんのお土産と快ち良い疲労感を持ちながら新幹線に乗り帰路に着きました。

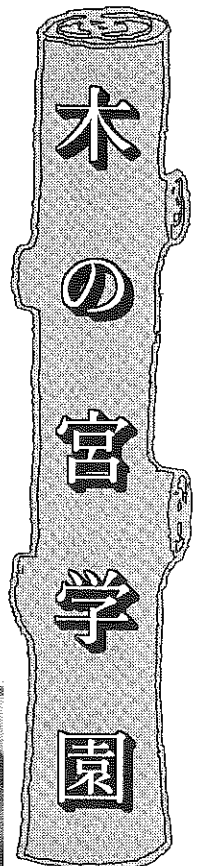


松島にて

(小林)



# 木の宮フェスティバル



第7回木の宮フェスティバルが、10月26日に開催されました。だが、天候はあいにくの雨。しかし、その雨もみんなの熱気に押されてか徐々に天気回復となって来た。その頃ホール棟では、井野中学校の音楽部による演奏が行われた。毎年楽しみにしている水戸黄門の曲が流れると、助さん・格さん・黄門様に扮した利用者3人が場内に登場！より一層、盛り上がり3人も少々緊張気味だが堂々たる面持ち。演奏が終了すると、ゲームコーナーが開始され、わなげ・パットゴルフ・ナインホール・ダーツ・虹の会からのパチンコが出店され、いつの間にか行列。一通り遊んだのち、お腹の空く頃。園内では、飲食コーナーでカレー・フランクフルト・たこ焼き・クッキー班からの喫茶店、そして外部からはオリーブハウスさん・たらちゃんらーめんさん・おやじの食事学さんが参加してくれました。特に麺類の人気は高く「美味しい」と大好評。みんな舌鼓を打っているうちにフィナーレ。音羽太鼓による和太鼓の演奏、そして迫力ある獅子舞の踊りが披露され、目を見開き食い入るように見る人。興奮しながらリズムを取る人と様々。楽しい時間も「あっ」と言う間。来年も是非遊びに来て下さいね。

(河野)

井野中音楽部



音羽太鼓

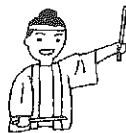


(小宮)

年で7回目ですが、地域のイベントとして定着したような気がします。毎年秋が待ち遠しくなります。

(虹の会 谷道)

息子に声をかけてくれるボランティアさんや学生さんに接する度に学園の普段の取組みの成果を感じ親として嬉しい限りです。



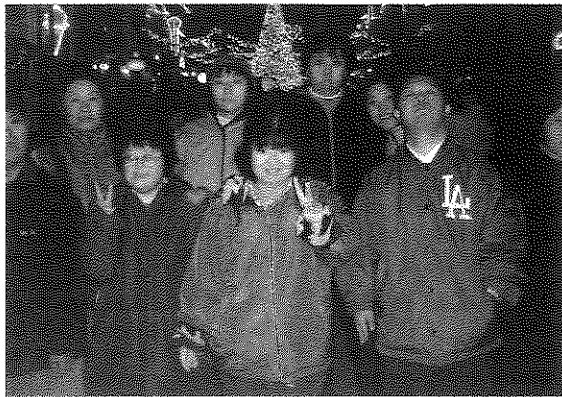
昨年度支援事業の認可後は、地域色々な方が利用するようになりました。このフェスティバルも今年で7回目ですが、地域のイベントとして定着したような気がします。毎年秋が待ち遠しくなります。

一日楽しく過ごしていました。朝からの雨にもかかわらず、多くの地域ボランティアの協力により、所狭しとゲームや模擬店は大盛況でした。午後小雨になると玄関前を元気よく走りまわる幼児の姿が見受けられました。木の宮学園は成人施設ですが、

(ボランティア 山岸)

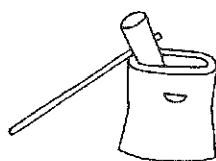
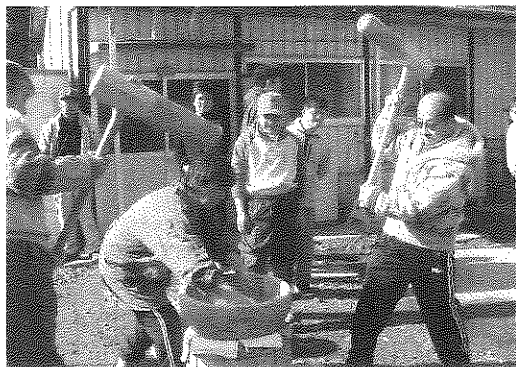
私は、今回初めて木の宮フェスティバルに参加させて頂きました。利用者の御家族や地域の方々その他大勢の方々も参加されました。ゲーム・演奏・和太鼓・踊り等内容も盛り沢山。利用者の方々も地域の方々も皆一体となって笑顔いっぱいにとっても素敵なフェスティバルでした。職員の方々が丸と頑張って取り組んだ結果だと強く感じました。このフェスティバルを通して、もっと障害者への理解が深まると良いなと思いました。私もボランティアとして参加させて頂いたことに感謝しています。

ディズニーマンさんまい



11月14日1泊2日でディズニーリゾートに行ってきた。当日とてもよい天気にも恵まれ11月というのに上着を着ていると汗ばむほどの陽気でした。利用者の方達にはなによりの日和です。夕方からの入場でした。その前の昼食はホテルのバイキングで皆さん楽しそうに好きなものをお腹いっぱい食べていました。大変おいしかったです。夕方から少し寒く感じましたが、寒空の花火見物も又格別なものです。利用者の方達皆さん大感激でした。翌日ディズニーシーは前日とは違ってどんよりとした寒い日でした。利用者の方達も少しつかれが出た様子でしたが、最後まで事故もなく、楽しいグループ旅行を終える事が出来ました。家に帰って思い出話に花が咲いたことでしょう。

(兼坂)



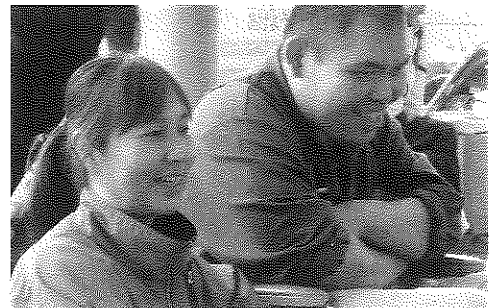
# 木の宮日記

十月七・八日総勢6名での、のんびり旅行。今回初めてコンドミニアムに一泊、自宅に居る様な、安心感が有り、海辺を散策したりとリラックスした時を過ごして来ました。2日目、八景島シーパラダイスへ、時間もたっぷり、水族館内をゆっくり魚の群れの中に身を置いて、そして旅行一番の楽しみのイルカショーは、十数頭がダイナミックに水しぶきを上げてのジャン

## 海と魚と私たち

プ、そして優雅な泳ぎに皆の表情が、クルクルと変化して行くのがうれしく、私も我を忘れて歓声を上げていました。昼食は中華バイキングを堪能し、各々のお土産を見て、一路海ほたるへ又、海を四方に囲まれての数時間を過ごして帰路へ着きました。皆2日間、たっぷりと海に身を置いての6名、お魚になった皆でした。

(中野)

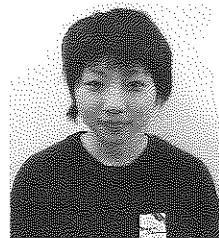


## おもちとフラッシュの嵐

穏やかに晴れ、まさに「もちつき日和」。多目的ホールは食堂へと変身。順番に杵でつき、食べやすく丸めて、あんこ餅、辛味納豆餅、お雑煮へ。つきたてのお餅は柔らかく、おいしくて、お替わりをしましました。午後からは、食堂にて成人を祝う会がありました。この日はばかりは主役のわが娘。皆さんから「おめでとう」と言ってもらって、芸能人並みのフラッシュを浴び、暖かく祝って頂きました。思わずこれからは本人らしく穏やかな人生が送れるようにと願いました。

(虹の会 加藤)

# サポーター



駒澤大学  
瀬尾 真喜子

## マラソンボランティア

私が初めて木の宮学園でボランティアに参加したのは、今から二年前の高校三年生の春休みでした。その頃ちょうど大学で福祉学科に進もうとしていた時期で、縁があってこの木の宮学園のボランティアに関わることができました。

木の宮学園では様々なグループ活動を行っています。私はたまたまスポーツをやっていたので、特にマラソングループを中心に関わらせていただくようになりました。そしてマラソングループが定期的に出場する、市民ロードレースの伴走をするようになりました。私自身もこのレースを毎回とても楽しみにしています。

レースを終えた後の達成感と充実感はとても気持ちの良いものです。その気持ちを利用者の方と分かちあえること、また自分の好きな運動を通して利用者の方と触れ合えることが何よりも嬉しいことです。

運動といってもマラソンのように身体全体を使うものから、散歩や軽い体操まで様々なものがあります。利用者の方々ができる範囲での運動をし、これからも一緒に気持ちの良い汗を流したいと思っています。

ボランティアというと敬遠されがちですが、自分の趣味や特技、好きなことを生かして利用者の方々と触れ合うことができる場であると思います。一つの方法ではありませんが『スポーツ』を通して木の宮学園や千手園の活動が地域全体に広まっていけばよいと思います。



## 美容ボランティア

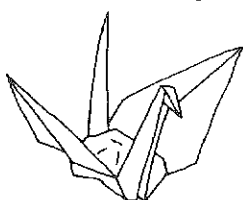
山本 加代子

私は長年、美容院で働いていました。しかし、二年前、体の不自由な主人の父親と生活する事になり、仕事を退めました。

父は、週に一度、ケアセンターでデイスーパーズをうけており、美容の仕事が好きな私は、ケアセンターで、カットのボランティアをさせて頂いてました。何人かの美容師さんとボランティアをしながら思った事は、みんな同じ髪形になってしまいう事への違和感でした。個性は、一人一人違うのにどうしてでしょう。それは、ボランティアだからでしょうか。だったら有料でやらせて頂く事によって責任もあるし、一人一人もっと丁寧にできるのでは、と思ったのです。

でも、老人施設では、なかなか受け入れてもらえず悩んだ時、ご縁を頂いたのがさくら千手園でした。最初は、多少のとまどいがありました。しかしみんなとっても純粹で、カットしたあとは、喜んで下さるのです。個性もすごく強くて、私は一日中施設で働いて

いる訳ではありません。家族の方、働いている職員の方のご苦労は計り知れないものがあると思います。でも言えることは、美容院で働いていた時よりも、今の方が楽しいんです。不思議ですが、美容師になつた意味を教えてくださいました。髪を切ると心も軽くなり、楽しくなります。一人でも多くの方にその気持ちを伝えたいなと思っています。



# Approach

アプローチ=接近する・研究方法

## 支援費(利用契約)制度「その2」

### 支援費制度に向けて

今回は支援費制度導入に向けての準備状況の報告と今後の課題について述べてみたいと思います。

当法人・施設では準備委員会を発足させ、次の主なセクションに分けて、それぞれの内容について協議を進めております。

【主な準備状況報告】  
① 指定申請  
施設支援は「みなし指定」となり、特に申請は必要ありませんので両施設共に居室支援(短期入所事業のみ)を申請しています。さらに千手園では宿泊及び日中受入を含めて定員4名・木の宮学園では日中受入のみで定員5名とし、両施設共に知的障害者及び障害児を対象とし実施していく予定です。

② 運営規定の作成  
両施設毎に施設支援・居室支援それぞれに運営規定を作成しています。これは施設等の主な概要やサービスの内容等をできる限り明確に表現するように心がけています。

ています。この規定がサービスの提供に当たっての基礎となるものですので、全職員で記載内容等の確認を行っています。

③ 利用契約書・重要事項説明書  
契約は成人の場合、本人と施設の間で行われることが大前提となりますので、より見やすく、わかりやすいサービスガイド等を写真やピクト等を活用して作成しています。又、前回の紙面でもお伝えしましたとおり「成年後見制度」についての研修会の実施等にも取り組んでおります。しかしながら、現段階では本人が信頼する人(親族等)が本人に代わって契約行為を行うこともやむを得ないことを考えています。

④ 個別支援計画書  
今までも個別面談等にて支援計画の提示や確認印の受領といったことは実施していますがより本人の意志を尊重するため、各種アンケート調査の実施を行い、より具体的に提示することができるよう書式の見直しを含めて検討しています。

⑤ 障害程度区分のチェック  
施設支援・居室支援共にそれぞれ障害程度区分を決定する必要があります。

あります。これは市町村が行うこととなっておりますがその聞きとり調査を両施設にワーカーに来園して頂き、施設職員も同席した上で2月中に実施する計画です。

⑥ 会計基準の変更と各種情報処理  
パソコンの導入を会計処理をはじめ、支援現場にも配置することを確認すると共にホームページの開設準備を進めています。

【今後の主な課題】  
① 支援費制度に移行しない事業との整合性について  
佐倉市からの委託による「ふれあい配食サービス事業」「在宅障害児者ミニデイサービス事業」は次年度以降も継続実施の方向性とのことです。特にミニデイサービス事業については短期入所事業等との整合性を図るため、現在までの登録についてはそのまま残り、具体的なサービスの提供段階とな



支援費拡大実行委員会会議風景

た時は地域生活支援センター・レインボーにてケアプランを作成した上での契約利用とすることを検討しています。

② 地域療育等支援事業の展開について  
昨年末に突然、国の補助金がなくなり、地方交付税の一般財源として実施していくことが発表されました。支援費制度の円滑な実施や地域での生活支援を推進していく上で最も重要視されていたこの事業は今後も国の責任で行っていくべきものであり、大変困惑しています。しかしながら、地域に住む障害を持った方々やその家族からの相談を受け止め、具体的なサービスを組み立てていく役割はできる限り後退することがないようにしていきたいと考えます。

③ 地域で支えるシステムの構築について  
このことは2年前にスタートした佐倉市障害児者地域生活支援システム研究会にて協議を進めているところであるがやはりサービスの基盤整備を進めていくことが重要となります。行政・施設・当事者団体・学校・NPO等の多くの関係者が参加し、開催しているこのシステム研究会の今後を期待すると共に当法人・施設として何を取り組んでいくべきかを検討していきたいと考えています。

た時は地域生活支援センター・レインボーにてケアプランを作成した上での契約利用とすることを検討しています。



# 行事予定

## 2 月

- 2～4日 ニード別旅行(札幌雪祭り) ⊕
- 6～7日 グループ旅行(雪山) ⊕
- 16日 ゆうあいピック駅伝大会 ⊕⊕

## 3 月

- 6～7日 グループ旅行(水戸) ⊕
- 11～12日 ボランティア講座 ⊕

## 4 月

- 9日 ハイキング ⊕
- 21～23日 ニード別外出 ⊕⊕
- 23～25日 グループ旅行 ⊕
- 26～5/5日 春休み ⊕

## 5 月

- 28～30日 ニード別外出 ⊕
- 29～30日 グループ旅行 ⊕

⊕; 千手園 ⊕; 木の宮学園

### 「寄付に感謝いたします」

- 。佐倉市社会福祉協議会様
- 。(宗真言宗豊山派様)
- 。観音寺 安田芳照様
- 。佐藤習字教室 信書会様

### バザーのお礼

去年の年忘れ会には、大勢の皆様にご出席いただき、バザーにも沢山の方が足を止めて、楽しんでお買い求めいただきましたこと、嬉しく思いました。これもバザーのためと、献品をしてくださった方、手作りの品を作ってくださいたりと、皆様が色々なところで、

御協力していただきましたこと、改めて感謝致しております。

そして、去年の秋には例年どおりおいしい大根をいただき、皆様に御協力いただきまして完売いたしました。この収益も、バザーに入れさせていただきました。ありがとうございます。

ふり返ってみますと、皆様に支えていただき、御協力いただきました一年でございました。沢山の御支援、御協力、本当に、ありがとうございます。

(木の宮学園 虹の会)



### いちおし作品

「新作紹介」

縫製班で取り組んでいる刺し子を紹介いたします。昔ながらの定判の柄「青海波」「麻の葉」「波に千鳥」などの模様を白いふきんに、刺し子糸を使って一針一針刺し作品に仕上げていきます。根気のいる作業ですが、序々にきれいな模様が出来上がってきておもしろいようです。針をどのように運べば、糸を切らずに模様をつなげていけるか一緒に考えながら作品を仕上げていきます。今はふきんを作っていますが、今後はみんなで大きな



### おめでとございます

★成人

加藤 晶子さん(木の宮学園)

「冥福をお祈りいたします」

加藤 昌子さん(さくら千手園)

### 編集後記

早いもので今年度も残すところあとわずか。4月からは「支援費制度」が始まります。このわずかな期間、私たちの成すべきことはなんでしょうか? 区分認定や契約はもちろん重要なことです。しかし、それ以上に今後は「選ばれる施設」を目指していくことが必要ではないでしょうか? 職員一同、より一層の努力をしていきたいと思っております。皆様から選ばれる施設、利用したい施設へ! (新井)